






ETK1743005E

MJC-LLD-H1000 工法書

ご使用前に、この工法書を良くお読みの上、内容を理解してから、ご使用下さい。
お読みになった後も、この工法書は大切に保管してください。

▽ 安全上のご注意 ～安全にご使用いただくために必ずお守りください～

この工法書には、人体への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にご使用いただくために守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次に示すとおりになっております。内容を良くご理解のうえ本文をお読みください。

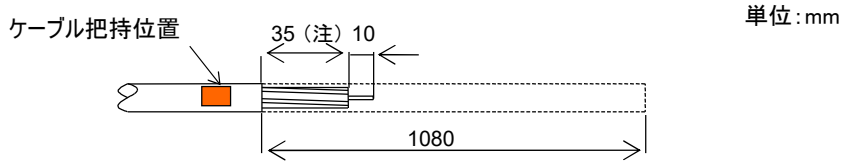
本クロージャに関する安全上のご注意	
 <p>危険</p> <p>右記内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が極めて高いことが想定されます。</p>	<p>—</p>
 <p>警告</p> <p>右記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本クロージャは、落下などの無いように、確実に固定して下さい。 ・架空での施工時には、部品及び使用工具が落下しないようにご留意ください。
 <p>注意</p> <p>右記内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性および、物的損害の可能性が想定されます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・刃物などのご使用時には十分に注意してください。 ・本クロージャの組立には、本製品以外の部品を使用しないでください。 ・締め付けトルクを規定した作業は、その規定を守って作業をしてください。水の侵入やケーブル及びクロージャの破損の原因となります。 ・塩害地域では、ステンレス鋼でも腐食する場合があります。
<p>お願い</p> <p>右記の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の性能を発揮出来ない可能性及び、機能停止をまねく可能性が想定されます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・光ファイバの配線は、許容曲げ半径30mm以上をお守りください。※ドロップ光ファイバの許容曲げ半径は15mm。 ・融着作業は、ご使用の融着接続機の取扱説明書をご覧ください。 ・本クロージャの解体・再組立・導入ケーブルの追加などの作業を行う際は別途、部品の交換が必要とする場合がありますので、事前に弊社・営業担当までご相談ください。

【組立方法】

1.ケーブルの処理

(1)主ケーブルのシース剥ぎ取り及びテンションメンバ(以下TMと表記)等の処理

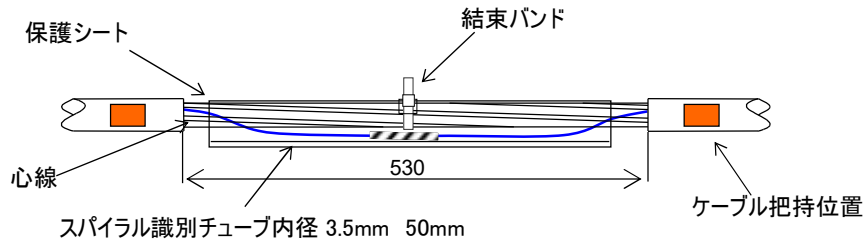
①端末ケーブル



(注)オプション品のケーブル TM ハジグ(太径用)の場合は 55(mm)

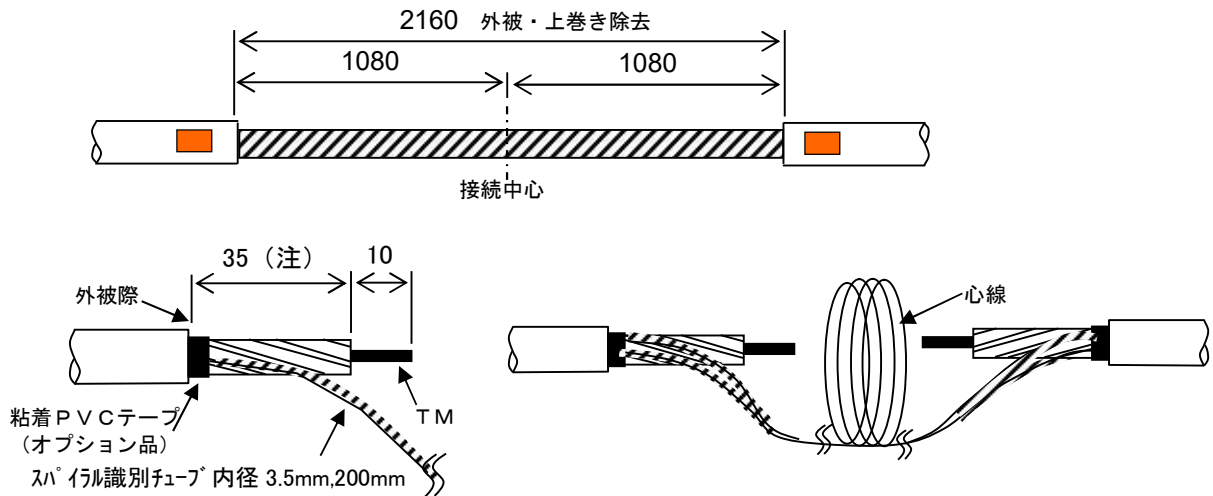
②スロット無切断引き通しケーブル

- ・通過心線にスパイラル識別チューブ内径 3.5mm を 50mm に切断しスロットの溝毎に巻き付ける。
 - ・スロットの溝から全ての心線を取り出した後、スロット中央部に結束バンドを巻き付ける(保護シートの移動防止)。
- 注)結束バンドは絶対に心線には巻かないで下さい。
- ・保護シートは中央部に結束バンドを通すための切り欠きを作成した後、スロットに被せて取付ける。



③スロット切断引き通しケーブル

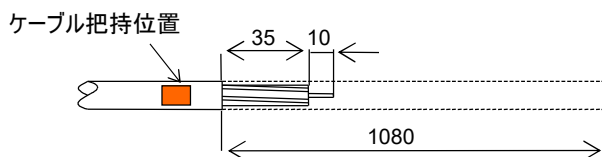
- ・通過心線にスパイラル識別チューブ内径 3.5mm を 200mm に切断し、スロットの溝毎に巻き付け(両側) 下図のように固定してください。



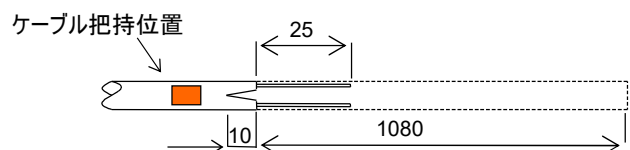
(注)オプション品のケーブル TM ハジグ(太径用)の場合は 55(mm)

(2)分岐ケーブルのシース剥ぎ取り及び TM の処理

スロットケーブルの場合



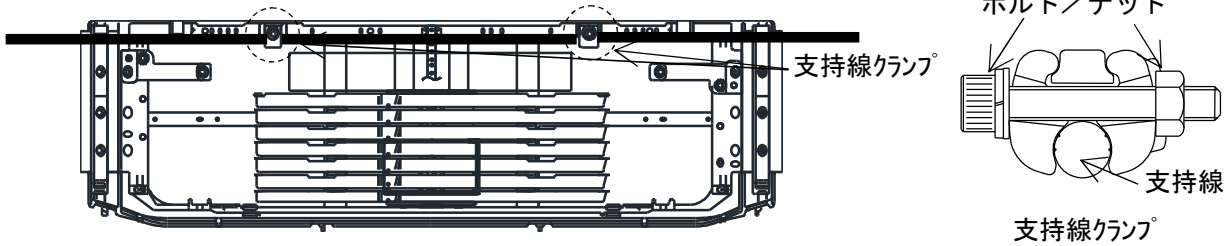
スロットレスケーブルの場合



2. クロージャの取付

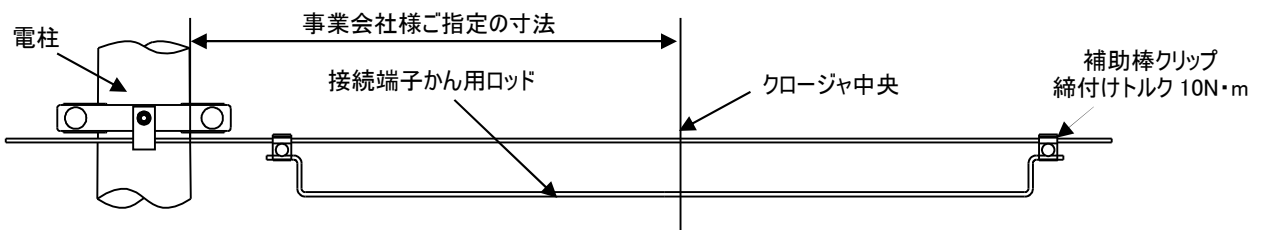
(1) 支持線への取付

- ・ AOクロージャのスリーブを開け、4箇所のお合部を外してスリーブを取り外します。
- ・ 支持線クランプの六角穴付きボルト／六角ナットを使用し、フレームを支持線に引っ掛けて固定します。
注意：支持線がPE(ポリエチレン)外被付きの場合、クロージャが取り付け部分(支持線クランプを固定する部分)の外被を予め除去し、内部のより線を露出させてください。

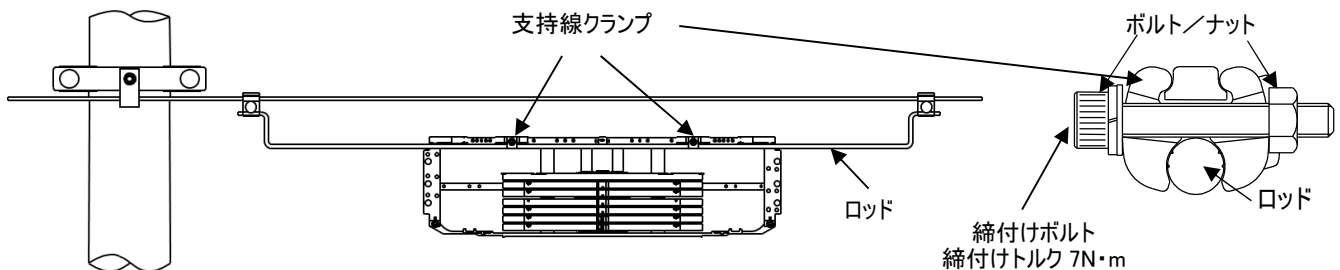


(2) 接続端子かん用ロッドの取付

- ・ 接続端子かん用ロッドを下図のように取り付けます。
注意：部品落下の無いように注意してください。



- ・ AOクロージャのスリーブを開け、4箇所のお合部を外してスリーブを取り外します。
- ・ 支持線クランプの六角穴付きボルト／六角ナットを使用し、フレームを接続端子かん用ロッドに引っ掛けて固定します。
注意：トレイ間の光ファイバ配線を挟まないよう注意してください。

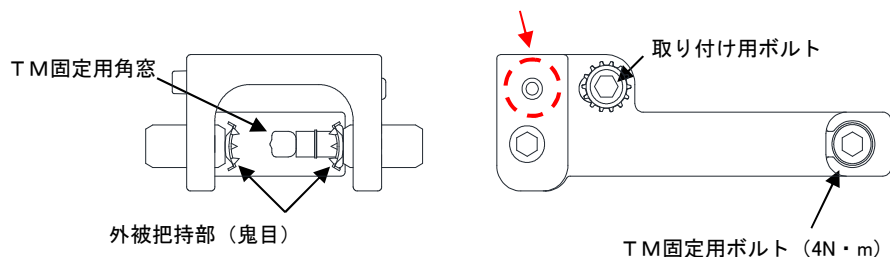


3. ケーブルの取付け

(1) 主ケーブルの取付け(端末の場合)

- ・ テンションメンバを固定用の角窓に挿入し、TM固定用ボルトをトルクレンチ 4N·m で締め付けます。
- ・ ケーブルが変形しない様に目視で確認しながら、鬼目がケーブル外被に完全に食い込む迄ボルトを締めつけます。
注意：2つの鬼目の締め付け量を調整してケーブルが中心からずれないように固定してください。

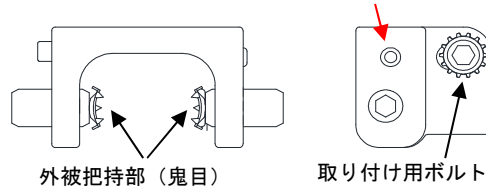
※太径のケーブルを使用するにはこの位置に凸部がある把持具を使用して下さい。



(2) 主ケーブル取付け(引き通しの場合)

- ケーブルが変形しない様に目視で確認しながら、鬼目がケーブル外被に完全に食い込む迄ボルトを締めつけます。
注意: 2つの鬼目の締め付け量を調整してケーブルが中心からずれないように固定してください。

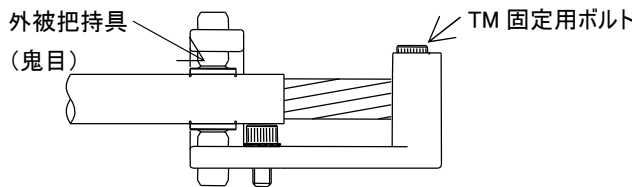
※太径のケーブルを使用するにはこの位置に凸部がある把持具を使用して下さい。



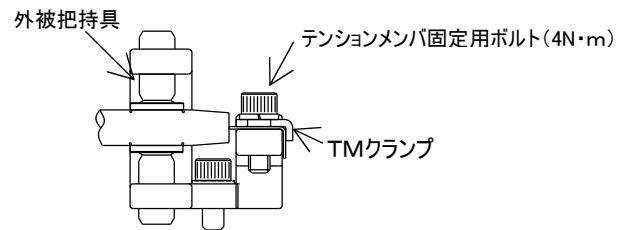
(3) 分岐ケーブルの取付

- スロットケーブルの場合は上記(1)の「主ケーブルの取り付け」と同様の手順で締め付けます。
- スロットレスケーブルの外被はスロットケーブル同様、上記(1)の手順で締め付けます。テンションメンバは TM クランプに差し込みテンションメンバ固定ボルトをトルクレンチ 4N・m で締め付けます。

スロットケーブルの場合



スロットレスケーブルの場合



MJC-3SFAO ケーブル TM ハジグ

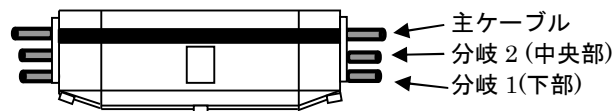
(4) ケーブル外径の制約

- 表 1 の通り、主ケーブルの外径により分岐ケーブルの導入できるケーブルに制約があります。

3SFAO-NS ケーブルハジグ「B」(オプション品)

表 1 ケーブル外径と導入ケーブル条数との制約

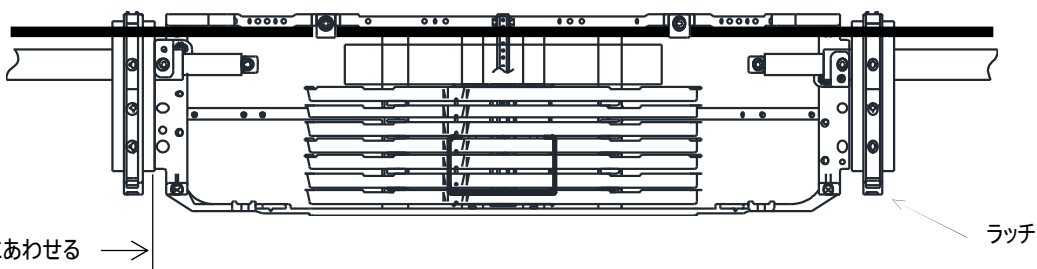
主ケーブル外径	8~25.5mm 未満導入の場合	25.5~28mm 導入の場合	
分岐 1(下部)ケーブル外径	8~23mm	21~23mm	8~21mm
分岐 2(中央部)ケーブル外径	8~23mm	導入不可	8~14mm



クロージャ外観図

(5) 端面シールの取付

- 端面シールを開いて支持線の上からケーブルを一括して被せた後ラッチをかん合させて端面シールを閉じます。
注意: かん合後、端面シールのケーブル装着部分がめくれてケーブルとの間に隙間ができることがあるので、必ずめくれ、ズレを指で修正して隙間を埋めてください。
注意: シール部が変形しないように、取付け後は左右に動かさないでください。



フレームの端にあわせる →

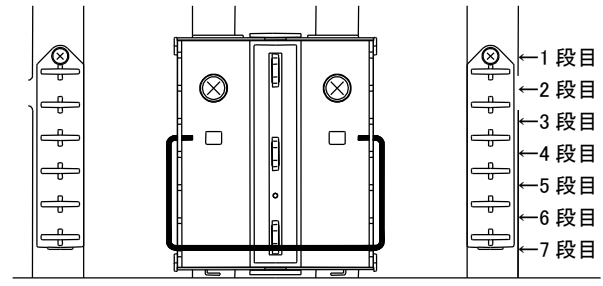
端面シール：下部ラッチをかん合させます。

4. 心線の接続と収納

(1) トレイ固定ベース部の取扱方法

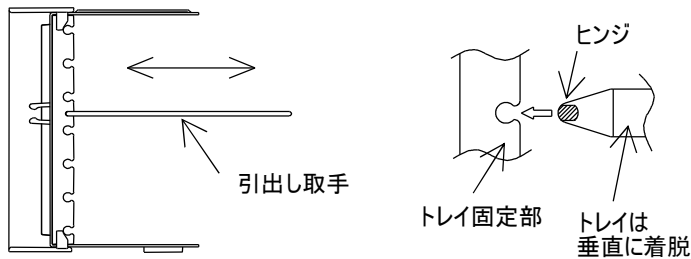
注意：万一ヒンジ部を装着せずに作業した場合、トレイの落下事故が発生する可能性があります。
注意：ケース類はトレイ固定ベースと垂直に着脱を行うと作業し易いです。

・1～7 段目には接続トレイ 3AO を装着しています。

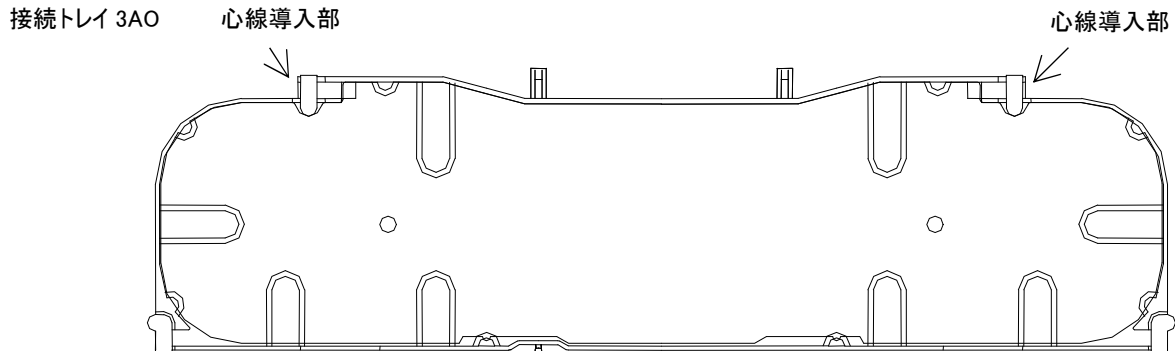


(2) トレイ固定ベースの引き出し

- ・ トレイ固定ベースは引出し式です。引出し取手を指でつまんで引き出すとトレイが開き作業可能になります。引き出しにくい時は、後方から補助的に押し出して下さい。
- ・ トレイのヒンジ部はトレイ固定ベースに確実に装着してください。



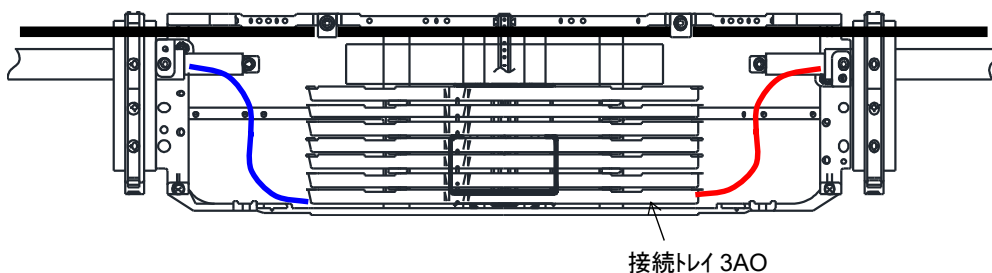
(3) トレイの説明



(4) 接続トレイ 3AO への心線導入

クロージャ内の配線(端末の場合)

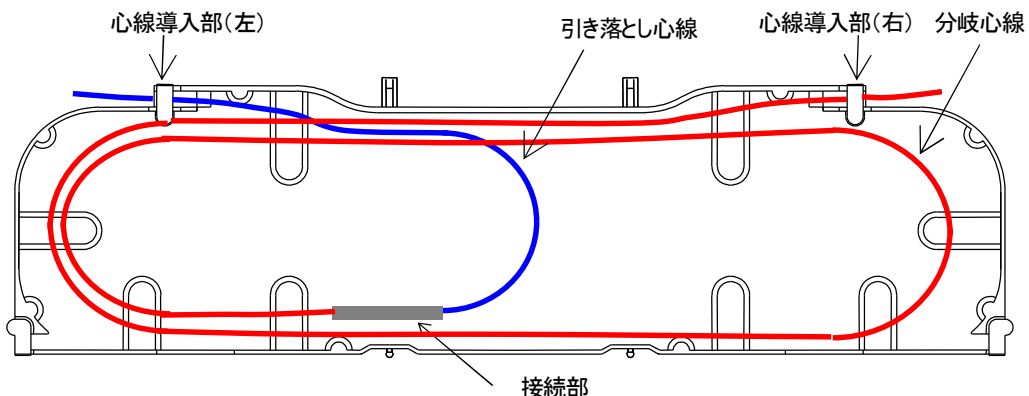
- ・ 下図のように、心線を接続トレイ 3AO へ配線します。



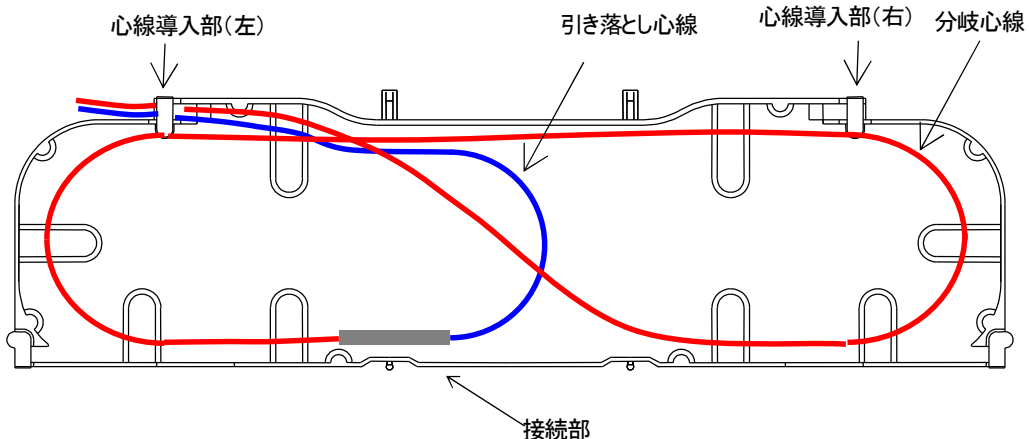
(5)接続トレイ 3AO の心線収納

収納例を下図に示す。

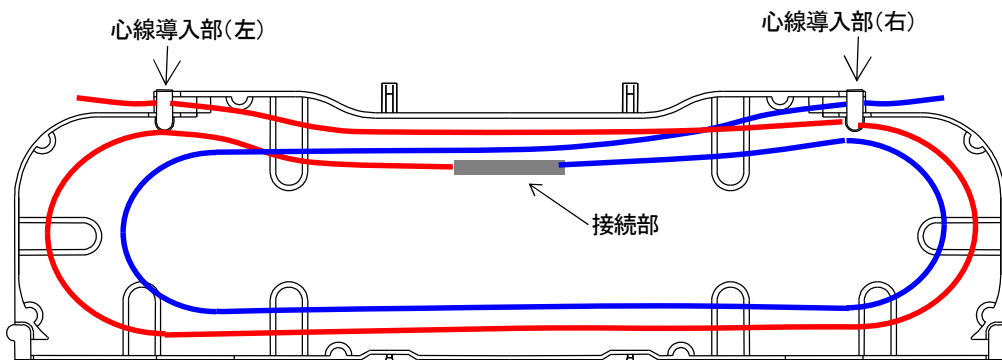
- ・通過心線と分岐心線の接続で左右の心線導入部を使用する場合
(引き落とし心線が左導入、分岐心線が右導出の場合)



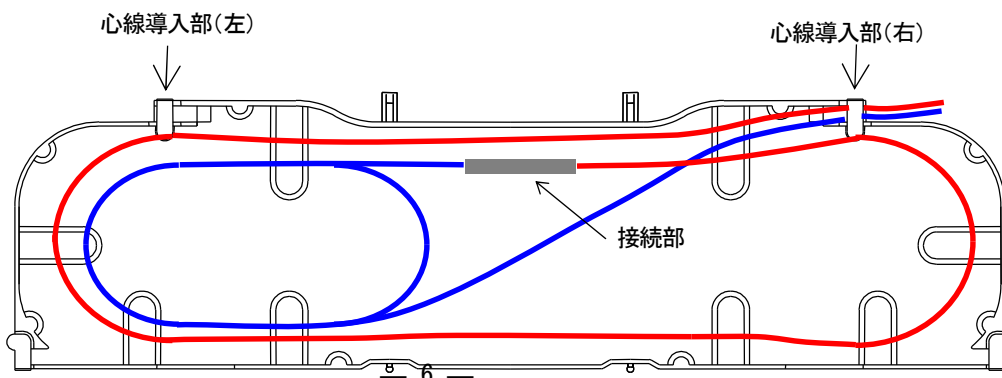
- ・通過心線と分岐心線の接続で左右どちらか一方の心線導入部を使用する場合
(引き落とし心線が左導入、分岐心線が左導出の場合)



- ・端末接続の場合で左右の心線導入部を使用する場合

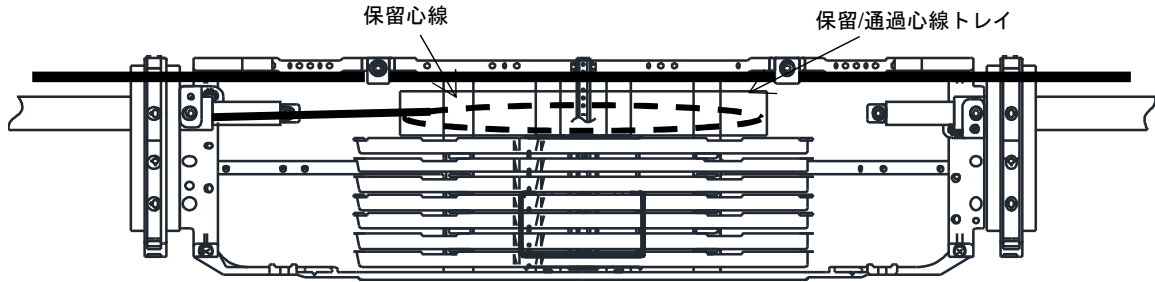


- ・端末接続の場合で左右どちらか一方の心線導入部を使用する場合 (※図は右側導入)



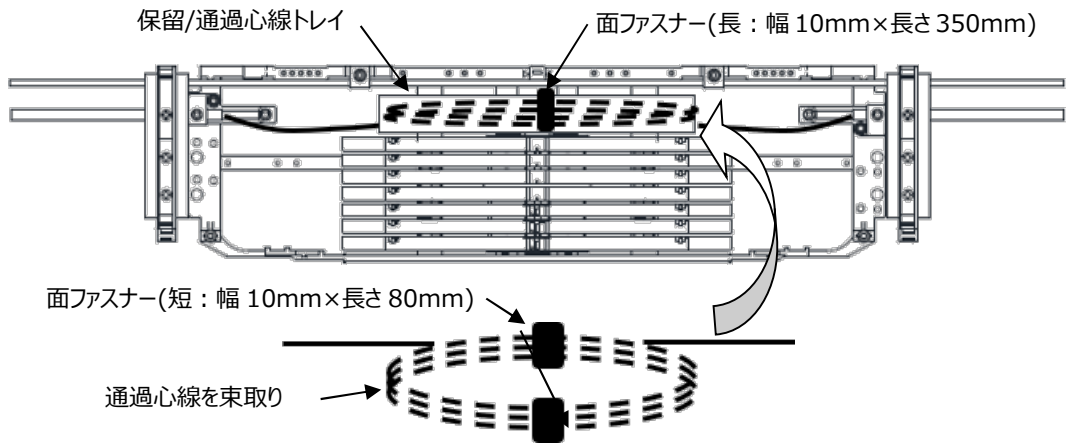
(6) 保留心線の収納

- ・保留心線はトレイ固定ベース上段の保留/通過心線トレイに図の通り収納する。



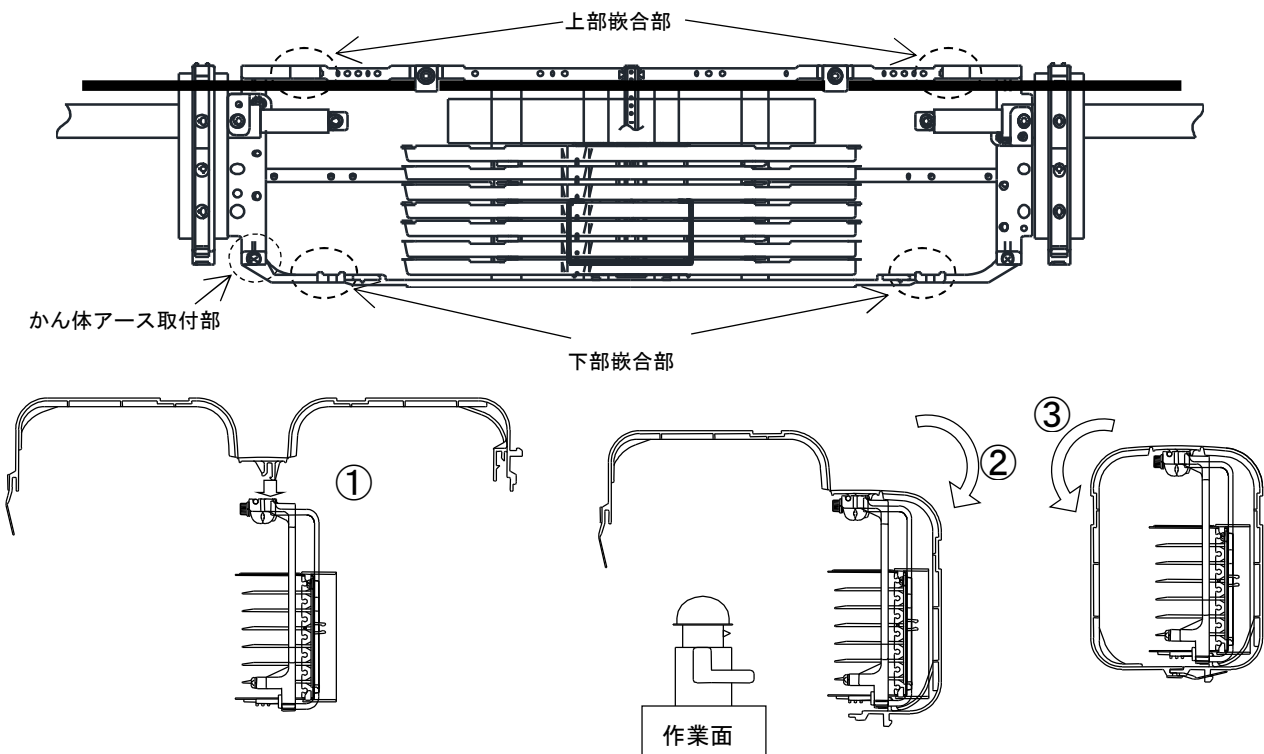
(7) 通過心線の収納

- ・通過心線(最大 640 心(8 心テープ))は、下図のように通過心線を束取りし、面ファスナー(短)2 個で 2 箇所ではう縛する。
- ・ほう縛した通過心線の束を保留/通過心線トレイに収納し、面ファスナー(長)1 個を保留/通過心線トレイの外周に巻いて固定する。



5. スリーブの取付

- ①スリーブをフレームの真上から被せ、上部嵌合部を装着します。
- ②反作業側を降ろし、下部嵌合部を装着します。
- ③作業側を降ろし、スリーブ下部のラッチを嵌合して作業終了です。



注意:スリーブ下部のラッチは 2 段フックになっております。両方とも確実にかん合させて下さい。

以上